

## 1) 会員管理

### R3年度会員数(2022年3月31日現在)

会員種別	H29年度末 (H30.3.31)	H30年度末 (H31.3.31)	R1年度末 (R2.3.31)	R2年度末 (R3.3.31)	R3年度末 (R4.3.31)
個人会員	606	634	620	587	584
学生会員	216	247	195	130	96
海外会員 *OECD	3	3	3	2	2
海外会員それ 以外	1	1	1	1	4
法人会員	6	6	5	5	5
名誉会員	13	12	12	11	11
計	845	903	836	736	702

\* 上記集計はメール・郵便物不達者を除いた数。個人会員資格喪失者(過年度未納2年)を除いた数。

\* R3年度末の個人会員には、非会員6名(会費請求しない)を除外。

\* 学生会員は、資格継続確認に未回答数を含む。

\* R4年度の会費請求は送付済で、会員証の発送はしない。

### 法人会員

日本製鉄株式会社／日本ガイシ株式会社／東レ株式会社

本田技研工業株式会社 ／ JFEテクノロジーサーチ(株)

## 2) 総会・定例理事会・臨時理事会・書面審議

### 1. 総会

2021年 6月 12日(土) 13:00-14:30 Zoomオンライン

### 2. 定例理事会

2021年 6月 12日(土) 15:00-16:00 Zoomオンライン (第1回)

2021年12月15日(水) 15:30~17:00ハイブリッド会議(第2回)

現地会場: パシフィコ横浜ノース 2階G213

### 3. 臨時理事会

2022年 3月28日(水) 10:00~12:00 Zoomオンライン

2022年 5月23日(月)~ 5月26日(木) 書面審議

## 3) 以下、各委員会活動報告

## 編集委員会

委員長 渡邊友亮 副委員長 内田儀一郎

### MRS-J Bulletinの公開・MRMチュートリアル動画配信について

2021. 3.31

MRS-J Bulletinを公開

2021.11.25

「MRM Forum 2020」チュートリアルセッションの動画を、会員ページ「動画情報」にて公開

2022. 3.22

MRS-J Bulletinを会員ページにて公開

2022. 3.22

「MRM Forum 2021」チュートリアルセッションの動画を、会員ページにて公開

・(株)動画公開にあたり、ご講演者様 (TU- 1 ~ TU- 5) より同意書をいただいた。

TU-6は、著作権に触れる資料があった為、公開辞退。

・動画配信に係る作業費用：動画編集、動画配信用設定、HPチュートリアル画面掲載作業一式で77,000円 (税込)

・動画公開にかかわる謝金として、日本MRS事務局より講演 1 件につき2万円を支給 (5件×2万円：合計10万円)

# 令和3年度活動報告(各委員会委員長)

## 日本MRSニュース編集委員会

## ニュース編集委員長 岩田展幸

### [2021年 Vol. 33-No.2 July](#)

目次

やあ こんにちは

エコものづくりの取り組みについて～

「2050年カーボンニュートラル」宣言で強く求められた革新的環境イノベーション～

岡部 敏弘

### 研究所紹介

公益財団法人 海洋生物環境研究所 中央研究所

海洋環境グループマネージャー 及川(おいかわ) 真司(しんじ)

### 研究トピックス

Li<sub>2</sub>CoTi<sub>3</sub>O<sub>8</sub>顔料の発色に与える焼成温度の影響

筑波大学 数理物質科学研究科 木村 咲穂

筑波大学 数理物質系 鈴木 義和

### ご案内

#### ■第31回日本 MRS 年次大会

日時・場所：2021年12月13日(月)～12月15日(水)

パシフィコ横浜

主催：日本 MRS

#### ■ Materials Research Meeting 2021 (MRM2021)

日時・場所：2021年12月13日(月)～12月17日(金)

パシフィコ横浜

主催：日本 MRS

### To the Overseas Member of MRS-J

### [2021年 Vol. 33-No.3 Sep.](#)

#### ■第31回日本MRS年次大会

日時・場所：2021年12月13日(月)～12月15日(水)

パシフィコ横浜

主催：日本MRS

#### ■Materials Research Meeting 2021

日時・場所：2021年12月13日(月)～12月16日(木)

パシフィコ横浜

主催：日本MRS

### [2021年 Vol. 33-No.4 Nov.](#)

目次

やあ こんにちは

蛍光X線ホログラフィーの研究とともに歩んだ四半世紀

林 好一

### 研究所紹介

産総研共用施設の紹介 — ナノプロセッシング施設 (NPF) を中心に

産業技術総合研究所TIA推進センタープラットフォーム運営ユ

ニット共用施設ステーション長 小笹 健仁

### 研究トピックス

電子強誘電体の非線形光学分光

東京工業大学理学院 于 洪武、沖本 洋一

### ご案内

To the Overseas Member of MRS-J

編集後記

### [2022年 Vol. 34-No.1 Mar.](#)

目次

やあ こんにちは

『重要な問題』

九州大学 大学院システム情報科学研究所 高等研究院長/主幹

教授・日本MRS代表理事 会長

白谷 正治

### 第31回日本MRS年次大会報告

組織委員長 高井 まどか (東京大学)

実行委員長 手嶋 勝弥 (信州大学)

### MRM2021 (Materials Research Meeting 2021) 開催報告

MRM2021 組織委員長 細野 秀雄

MRM2021 事務局長 鈴木 淳史

### ご案内

IUMRS関連

協賛・公募

To the Overseas Member of MRS-J

編集後記

# 令和3年度活動報告(各委員会委員長)

## 広報・情報委員会

委員長 青木学聡

### Webページにおけるイベントの告知

1	HP	初心者のための電気化学測定法-基礎編	公益社団法人電気化学会	R2年7月2日	オンラインセミナー(YouTube)
2	HP	初心者のための電気化学測定法-実習編	公益社団法人電気化学会	R2年10月12日	オンラインセミナー(YouTube)
3	HP	第48回先端科学セミナー 電気化学のための計算化学入門	公益社団法人電気化学会 関東支部	R2年11月10日	オンライン開催(Zoom)
4	HP	第19回ナノテクノロジー総合シンポジウム(JAPAN NANO 2021)	国立研究開発法人物質・材料研究機構	R2年12月11日	東京国際展示場(Webセミナー併用)
5	HP	電気化学セミナーC「電気化学による最近・ウイルス検出の最前線～新型コロナウイルス感染症の流行を経験して～」	公益社団法人電気化学会	R2年11月6日	オンラインセミナー(Zoom)
6	HP	第56回学際領域セミナー 一日でわかる全固体電池	公益社団法人電気化学会 関東支部	R2年12月11日～17日	オンライン開催(Vimeoによるオンデマンド配信)
10	HP	ナノ学会第19回大会会議	ナノ学会	R3年5月20日～22日	名古屋工業大学 御器所キャンパス
11	HP	「山内物質空間テクニクス(JST-ERATO)のキックオフシンポジウム	NIMS 国際ナノアーキテクニクス研究拠点	R3年4月17日13:00～17:00	早稲田大学新研究棟(121号棟) University of Queensland

### Webページにおける公募情報の告知

1	HP	2020年度「きぼう」利用テーマ募集	JAXA	募集締切R2年9月30日	募集説明会(セミナーライブ配信))
2	HP	日本原子力研究開発機構J-PARCセンター長候補者推薦依頼	日本原子力研究開発機構 J-PARCセンター	募集締切R2年12月7日	問い合わせ先:日本原子力研究開発機構J-PARCセンター長人事委員会
3	HP	国立研究開発法人物質・材料研究機構 ICYS 研究員(任期制)の公募について	国立研究開発法人物質・材料研究機構	応募締切R2年3月31日	問い合わせ先:若手国際研究センター採用担当

## MLおよびWebページによる事務局からの案内(主に会員向け)

1	4月1日	「日本MRSニュース2020年1号を掲載いたしました」
2	6月15日	「第30回日本MRS年次大会講演申し込み受付を開始しました」
3	6月27日	「第30回日本MRS年次大会はオンライン開催となりました」
4	6月29日	「MRM2020は1年延期してMRM2021として開催することが決定されました」
5	7月1日	「Transactions of the Materials Research Society of Japan休刊のご案内」
6	7月1日	「MRM Forum 2020が本年12月にオンライン開催することが決まり準備が始まりました」
7	7月20日	「日本MRSニュース2020年2号を掲載いたしました」
8	8月25日	「MRM Forum 2020のホームページが公開され、シンポジウムへの講演募集が始まりました」
9	9月2日	「TMRS-J一般論文投稿についてのご案内」
10	9月4日	「第30回日本MRS年次大会講演申し込み受付を終了しました」
11	9月25日	「日本MRSニュースを掲載しました(第30回日本MRS年次大会、MRM Forum 2020)」
12	10月16日	「第30回日本MRS年次大会 早期参加登録受付を終了しました」
13	11月16日	「長倉三郎名誉顧問が令和2年4月16日にご逝去されましたことを謹んでお知らせいたします」
14	12月2日	「第30回日本MRS年次大会Abstractを公開しました」
15	12月18日	「日本MRSニュース2020年4号を掲載いたしました」
16	1月8日	「MRM Forum 2020の優秀若手発表賞が決定いたしました」
17	1月18日	「第30回日本MRS年次大会奨励賞受賞者が決定いたしました」
18	1月28日	「今年の年次大会はMRM国際会議と同時開催になります」
19	2月1日	「TMRS-Jへの投稿受付は、第29回年次大会関連論文・一般論文共に全て終了いたしました」
20	3月1日	「第31回日本MRS年次大会ホームページを公開いたしました。シンポジウム提案の受付を開始しました」
21	3月31日	「MRS-J Bulletinを公開しました」

# 令和3年度活動報告(各委員会委員長)

## 表彰委員会

## 委員長 佐藤貴哉

### 第31回日本MRS年次大会奨励賞受賞者一覧

受賞者数18名(内, 1名特別合同審査)

sympo	prg_no	Title	Presenter	Affiliation
A, D, F	F-O13-012	ヤマザクラの Cork 組織におけるスベリンの分布	齊藤 勇人	三重大学大学院 生物資源学研究所 資源循環学専攻
		Distribution of the suberin in phellem of <i>Cerasus jamasakura</i> (Siebold ex Koidz.) H. Ohba	Hayato SAITO	Mie University
B	B-O14-008	C70 ナノウィスカーの育成と弾性挙動	五味田 綾香	横浜市立大学
		Growth and elastic behaviors of C70 nanowhiskers	Ayaka GOMITA	Yokohama City University
C	C-O14-007	摂動分子動力学法による転位近傍のフォノン伝導メカニズム	関本 渉	大阪大学大学院工学研究科
		Mechanism of Phonon Transport in the vicinity of Dislocations by Perturbed Molecular Dynamics	Wataru SEKIMOTO	Graduate School of Engineering, Osaka University
E	E-P14-044	極微細な白金触媒ナノ粒子担持による可視光応答水分解光触媒の高活性化	川地 正将	東京理科大学大学院理学研究科
		Enhancement of visible-light-driven photocatalytic water-splitting reaction activity by loading size-controlled Pt Nanocluster as cocatalyst	Masanobu KAWACHI	Graduate School of Science, Tokyo University of Science
	E-P14-003	配位子脱離過程の解明による金クラスター担持光触媒の高活性化	平田 桃子	東京理科大学大学院理学研究科
		High activation of gold cluster-supported photocatalyst by elucidation of ligand elimination process	Momoko HIRATA	Graduate School of Science, Tokyo University of Science
G	G-O13-010	バイオ燃料電池駆動経皮通電パッチの開発	井上 大輔	東北大学大学院工学研究科
		Development of Biobattery-Driven Transdermal Osmotic Flow Patch	Daisuke INOUE	Graduate School of Engineering, Tohoku University
H	H-O13-009	プラズマ合成五酸化二窒素によるシロイヌナズナの全身防御応答の誘導	岩本 拓仁	東北大学大学院工学研究科
		Plasma-synthesized N <sub>2</sub> O <sub>5</sub> exposure induces a systemic defense response in <i>Arabidopsis thaliana</i>	Hiroto IWAMOTO	Graduate School of Engineering, Tohoku University
I	I-O13-008	ジピコリルアミン銅(II)錯体修飾型延長ゲート有機トランジスタによるココイルサルコシンの検出	水戸部 里歩	東京大学
		Detection of Cocoyl Sarcosine utilizing an Extended Gate-Type Organic Field-Effect Transistor with Copper(II)-Dipicolylamine Complex	Riho MITOBE	The University of Tokyo
J	J-P14-001	電解質ハイドロゲル内の局所的な内部構造や定量的なポリマー濃度の新規計測法	西村 拓哉	北海道大学大学院生命科学学院
		A novel method to measure the local internal structure and quantitative polymer concentration in polyelectrolyte hydrogels	Takuya NISHIMURA	Graduate School of Life Science, Hokkaido University
K	K-O13-003	層状ポリジアセチレン/ドライリキッド複合体を用いた高感度化による弱い摩擦力の可視・定量化	塩田 菜乃	慶應義塾大学大学院理工学研究科
		Enhanced sensitivity for visualization and quantification of weak friction force using composites of layered polydiacetylene and dry liquid	Nano SHIODA	Graduate School of Science and Technology, Keio University
	K-O13-008	階層的ナノ構造形成を目指したポリ(4-ビニルピリジン)- <i>b</i> -ポリ(メタクリル酸2,2,2-トリフルオロエチル)の合成と性質	河原 仁美	東京工業大学物質理工学院
		Synthesis and Characterization of Poly(4-vinyl pyridine)- <i>b</i> -Poly(2,2,2-trifluoroethyl methacrylate) for Hierarchical Nanostructures	Hitomi KAWAHARA	Department of Materials Science and Engineering, Tokyo Institute of Technology
L	L-P14-022	両双性イオン型ブロック共重合体の双性イオン凝集特性に基づくモルフォロジー転移	高橋 将也	大分大学大学院工学研究科
		Morphology Transition of Double Zwitterionic Block Copolymers Based on Aggregation Characteristics of Zwitterions	Masaya TAKAHASHI	Graduate School of Engineering, Oita University
	L-P14-030	水面上での形状記憶高分子の近赤外光応答挙動	恒川 唯	兵庫県立大学大学院工学研究科
		Near-Infrared Light Responsive-Behavior of Shape Memory Polymer on the Water Surface	Yui TSUNEKAWA	Graduate School of Engineering, University of Hyogo
	L-P14-038	ホルミウムを金属種とする磁場応答性MOF粒子の作製	藤田 勇太	千葉大学大学院 融合理工学府 先進理化学専攻 共生応用化学コース
		Preparation of magnetic MOF particles using holmium as a metal species	Yuta FUJITA	Department of Applied Chemistry and Biotechnology, Graduate School of Scientific Engineering, Chiba University
M	M-P14-004	IT-SOFCアノード用のブラウンミラライト酸化物アノード反応活性助触媒の電気的特性と電極性能	矢嶋 祐介	鶴岡工業高等専門学校
		Electrical property and electrode performance of brownmillerite oxide anode reaction active promoters for IT-SOFC anode	Yusuke YAJIMA	National Institute of Technology, Tsuruoka College
	M-O13-002	PEFC用電解質への応用に向けたプロトン性イオン液体型ポリマーの合成および電気的特性評価	佐藤 瑠星	鶴岡工業高等専門学校
		Synthesis and Electrical Characterization of Protonic Ionic Liquid Type Polymers for Application to PEFC Electrolytes	Ryusei SATO	National Institute of Technology, Tsuruoka College
N	N-P14-004	隣接基関与反応を用いたリグニン分解物の分子量制御による機能化	正木 美波	新潟大学
		Functionalization and molecular structure control of lignin degradation products by neighboring group participation	Minami MASAKI	Niigata University
	N-P14-017	インプラント周囲炎予防に向けた抗菌性デザイン ―キトサンを足場とした銀ナノ粒子合成―	西本 淳之介	東京工業大学物質理工学院材料系
		Antibacterial design for Preventing Peri-implantitis -Synthesis Silver Nanoparticles using Chitosan as scaffold-	Junnosuke NISHIMOTO	Materials Science and Engineering, School of Materials and Chemical Technology, Tokyo Institute of Technology

# 令和3年度活動報告(各委員会委員長)

## 国立高専機構—日本MRS連携推進委員会

連携推委員長 佐藤貴哉

### 令和3年度活動報告

1. 第31回日本MRS年次大会で、2件のシンポジウム 開催した。  
高専教員がオーガナイザーのシンポジウムを設立して5年目。シンポジウム名から“高専”を外し、高専外からの発表者を広く募った。

- ・シンポジウム名：社会実装材料研究シンポジウム(シンポジウムM)
- ・シンポジウム名：バイオ・先端材料関連研究シンポジウム(シンポジウムN)

口頭発表：67件(シンポO:35件、シンポP:32件)、ポスター発表：44件(シンポO:26件、シンポP:18件) **合計：111件** の研究発表を行った。**発表参加者が100名以上になるのは4年連続である。**

(第28回年次大会：128件、第29回年次大会：112件、第30回年次大会：142件)

この中には、**大学、国研、企業と高専外からの発表が約30%を占めており例年と比較して増加した。**(特に大学からの発表が多かった。)

**奨励賞4件**をMRS-J表彰委員会に推薦。承認された。

次年度以降は高専外(特に企業)からの発表を増やしていく予定。

### 決算について

- ◆令和3年度は高専生サミットでの審査、日本MRS大実験室の実施をコロナウィルス感染拡大防止の観点から見送ったため予算は使用していない。



# 令和3年度活動報告(各委員会委員長)

## 第31回年次大会委員会

高井理事・手嶋理事

テーマ: With/Afterコロナウイルス時代のマテリアルズイノベーション強化

主催: 日本MRS

会期: 2020年12月13日(月)～15日(水)

会場: ハイブリッド開催(現地会場: パシフィコ横浜ノース)

シンポジウム数: 14件

発表件数: 524件(口頭: 320件、ポスター: 204件)

参加者数: 625名(内、海外からXX名)

企業展示: 0社、広告掲載: 1社(シンポ: 1社)、シンポ協賛: 0社

### 国籍

1	France
13	India
616	Japan
1	Serbia
2	Thailand
1	Vietnam

参考) 2020年度

シンポジウム数: 15(内、国際シンポ4、他、オンライン開催によるキャンセル1)

発表件数: 576件(口頭: 381件、ポスター: 195件) 参加者数: 664名(内、海外から38名)

企業展示: 0社、広告掲載: 2社(シンポ: 2社)、シンポ協賛: 1社

参考) 2019年度

シンポジウム数: 19

発表件数: 757件(口頭: 376件、ポスター: 381件) 参加者数: 860名(内、海外から11名)

企業展示: 0社、広告掲載: 2社(シンポ: 2社)、シンポ協賛: 12社

特別講演(12月15日)

「機械学習を利用した嗅覚センサー研究 ～ニオイのデジタル化～」田村亮@NIMS

「2050年カーボンニュートラルに向けた世界・日本の取組」森本英香@早大

# 令和3年度活動報告(各委員会委員長)

## ICYRAM2022準備状況

◆開催日時:2022年8月3日(水)~6日(土) 4日間

◆場所:九州大学医学部百年講堂(福岡県福岡市東区馬出3-1-1)  
+オンライン(ハイブリッド形式)



ロゴマーク作成

HP: <https://icyram2022.wixsite.com/official-site>

Flyer: [https://83aa8a6b-10b5-4864-90ac-2dfd3fd317bd.filesusr.com/ugd/e971a2\\_dbd09c63f1814a9c8d98cf0005613543.pdf](https://83aa8a6b-10b5-4864-90ac-2dfd3fd317bd.filesusr.com/ugd/e971a2_dbd09c63f1814a9c8d98cf0005613543.pdf)

### 招待講演者

### プレナリー講演者(下記3名)・招待講演者決定

8/3 9:10-10:10



Prof. Zhenan Bao  
Stanford Univ., USA

8/4 13:00-14:00



Prof. Haick Hossam  
Israel Inst. of Tech., Israel

8/5 9:00-10:00



Prof. Chihaya Adachi  
Kyushu Univ., Japan

### 助成金

### 開催助成応募中2件・採択1件

応募中: 1. 福岡観光コンベンションセンター(最大200万円)  
2. 池谷科学技術振興財団(最大50万円)

採択: 1. 井上科学振興財団(100万円・状況により減額)

その他: 1. IUMRS支援金(最大100万円)  
2. 福岡観光コンベンションセンター

ハイブリッド会議開催助成応募予定

### 広報・学協会協賛

### 国内承認9件

告知 配布用チラシ作成

MRS-J, IUMRSの各ABへの告知依頼済

協賛 日本金属学会, 日本セラミックス協会, 高分子学会,  
応用物理学会, 日本化学会, 電気化学会, 触媒学会,  
化学工学会, 低温プラズマ科学研究センター

メディアパートナー Nanomaterials (MDPI)

### 開催までの予定

### 現在投稿受付中(3/14締切・2週延長予定)

1/14 講演申込受付開始

3/14 講演申込締切

3/28 講演申込完全締切

4/11 申込講演の採否アナウンス

5/2 早期参加登録締切

5/15 講演プログラム確定

5/31 一般参加登録締切

6/30 開催形式の最終決定

8/3-6 ICYRAM2022開催

### 賞関連

### 学生・若手研究者向けの発表賞/トラベルアワード募集中

ICYRAM2022 Student Awards (学生賞)

ICYRAM2022 Young Researcher Awards (若手研究者賞)

ICYRAM2022 Travel Awards (旅費支援or参加費免除)

表彰規定を  
策定中

### 国際ネットワーク形成

・IUMRSの各ABへ国際組織委員(各5名), 国際プログラム  
編集委員(各2名)の推薦依頼済み

・会議当日にZoomのブレイクアウトルームを設け、発表  
者-聴講者の交流の場を提供予定

## 3月10日現在のアブストラクト投稿状況

Syposium	All presentations	Oral	Poster
A	8	7	1
B	2	2	0
C	6	5	1
D	2	1	1
E	3	3	0
F	1	1	0
G	3	3	0
H	6	6	0
I	0	0	0
J	8	5	3
K	2	2	0
<b>Total</b>	<b>41</b>	<b>35</b>	<b>6</b>

総招待講演数60件、内投稿済4件

## その他参考情報

- アブストラクト投稿サイト/参加登録サイト作成をイントラックシステムズ(株)に依頼
- 各シンポジウム(A~K)の女性招待講演者数を調整中。1つのシンポジウムに1人以上女性招待講演者がいるようにする
- ハイブリッド開催時の運営簡易化、オンライン開催時の対応として、Registrationはオンラインのみ/支払いもクレジットカードのみとする
- Registration区分はEarly/Regularの2種とする。金額は以下の通り。

参加費	Early (~5/2)	Regular (5/3-5/31)
Student	20,000 JPY	25,000 JPY
General	50,000 JPY	60,000 JPY

- 阪大 藤井進先生(実行委員), 東大 高井まどか先生(アドバイザー)が委員に追加された。
- 各シンポジウムでの集客へ向けて、Contributed Symposium Organizer (CSO)制度を提案・施行
- 発表時間はプレナリー(60min), 招待講演(30min), 一般講演(15min)とする(質疑応答含む)

# 令和3年度活動報告(各委員会委員長)

## MRM2021開催報告

## MRM2021事務局長 鈴木淳史

以下の内容で開催した。

**プレナリーセッション**：本会議の趣旨に沿った国内外の第一線の研究者による講演（6件）。

**クラスター合同セッション**：Cluster Keynote（27件）を含むクラスター毎の全体会議。

**シンポジウム**：36テーマ：各シンポジウムは口頭ならびにポスターセッションから構成。36テーマは8**クラスター**（3から5のシンポジウムの集合体）に分類。各シンポジウムのオーガナイザーの構成は国際的。

**ビジネスレクチャー**：企業から先進材料に関する技術動向や情報提供のプレゼンテーション。

MRM2021参加者：1,635人

内訳：MRM2021招待：34人

（シンポジウムの招待を除く）

一般参加者：1,601人

参加者のうち国外所属：258人

講演者数：1,364人

（1人講演まで発表可のため講演数とは異なる）

聴講者数：271人

### 参加者数データ

来場者数：855件

（内、招待者6人）

講演総数：1405件

内訳：プレナリー：6件

クラスターキーノート：27件

ビジネスレクチャー：1件

一般オーラル・ポスター：1371件

右表の数字：参加登録時に、『あなたが働いている国名』と項目設定した結果をカウント（海外からの参加者は極僅か）

	一般参加者	招待者	合計
	1601	34	1635
Australia			2
Austria	2		2
Bangladesh			
Brazil			
Canada	5		5
China	26	4	30
Estonia	3		3
Finland			
France	30		31
Germany	18		19
Greece			
Hong Kong			
India	8		8
Indonesia			
Ireland			
Israel	3		3
Italy	5		5
Japan	1367	10	1377
Jordan			
Korea	20	2	22
Malaysia	8		8
Netherlands	2		2
New Zealand			
Norway	3		3
Poland			
Singapore			2
Slovakia			
Spain	7		7
Sri Lanka	2		2
Sweden			
Switzerland	6		6
Taiwan	10		10
Thailand			
UK	19	4	23
USA	39	9	48